

過酷なスポーツの世界で、失敗や挫折を乗り越え、常に挑戦を続けるトップアスリートから、人生観や、成功に至るまでの体験談をお話いただき講座。人生を自分らしく歩みながら、より味わい深いものとするために、人生を前向きに生きるヒントを学びます。



■スポーツ対談

「私のサッカー人生」

SC 相模原 GK (元日本代表GK)

川口能活

ジャーナリスト

× 吉井妙子



サッカー日本代表の守護神として、スーパーセーブの数々で日本のプロサッカー人気を牽引してきた川口能活氏。数々の試練を乗り越えいかにして世界で活躍するGKとしての素養を身につけてきたのか。現在もJ3リーグSC相模原ゴールキーパーとして、若手選手を鼓舞し、精神的支柱としてもチームを支える川口氏が、ジャーナリストの吉井妙子氏との対談形式で語ります。

■川口 能活 (かわぐち・よしかつ)

1975年8月15日生まれ。静岡県出身。小学校3年生より本格的にサッカーを始め、名門・東海大一中を経て清水商業高校へ。94年全国高校サッカーで優勝し、同年、横浜マリノス(現横浜F・マリノス)に入団。96年のアトランタ五輪ではブラジルを破る立役者に。2001年イングランド2部のポーツマスFCへ移籍し、日本人GKとして初の欧州移籍を果たした。以後、FCノアシェラン(デンマーク)、ジュビロ磐田、FC岐阜を経て現在SC相模原所属。日本代表としてFIFAコンフェデレーションズカップ2001ベストイレブン、AFCアジアカップ2004ベストイレブンなどの受賞歴がある。FIFAワールドカップでは4大会(98年フランス、02年日韓、06年ドイツ、10年南アフリカ)に選出され、オシムジャパン、岡田ジャパンでは主将を務めた。国際Aマッチ出場数は日本代表歴代3位、同ゴールキーパー歴代1位の116試合を記録。2017年11月Jリーグ通算500試合達成。

■吉井妙子 (よしい・たえこ)

宮城県出身。朝日新聞社を退社後、スポーツジャーナリストとして独立。『帰らざる季節—中嶋悟F1五年目の真実』(文藝春秋)で91年度ミズノスポーツライター賞を受賞。一般のスポーツルポとは一線を画す、物事の本質に迫る独自の手法で定評がある。スポーツに限らず人物ノンフィクションを手掛け、経済や芸術の分野でも幅広く執筆。『神の肉体 清水宏保』(新潮社)、『日の丸女子バレー ニッポンはなぜ強いのか』『天才を作る親たちのルール』(ともに文藝春秋)、『サクラサク 女子7人制ラグビー日本代表サクラセブンス オリンピックへの挑戦』(小学館集英社プロダクション)他多数。

日時：平成30年 **6月4日(月)** 19:00~20:30 (18:30開場)

会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール (200名)

参加費：500円 ※千代田区内在住者および学生無料。住所の確認できるもの、学生証等をお持ち下さい。

主催：公益財団法人上廣倫理財団 <http://www.rinri.or.jp>

共催： <https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>



都営地下鉄 ●三田線「内幸町駅」A7出口/徒歩3分
東京メトロ ●丸の内線 ●日比谷線「霞ヶ関駅」B2出口/徒歩3分
●千代田線「霞ヶ関駅」C4出口/徒歩3分
JR「新橋駅」日比谷口(SL広場)徒歩10分
※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

参加申込方法

日比谷図書文化館ホームページの申込フォーム、電話(03-3502-3340)または、日比谷図書文化館1階受付カウンターにて、講座名、お名前、よみがな、お電話番号をご連絡ください。定員200名(事前申込順・定員に達し次第締切)。キャンセルの場合はご連絡ください。